

告 世界が憧れるまち “小田原”

ス。ポ。ー。ツ。に。よ。る。ま。ち。づ。く。り

守屋てるひこ

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピック大会が開催されます。私もスポーツを通じて構築した関係は、人生

アスリートの熱戦が期待されます。この大会は後世に何をレガシーとして残せるのでしょうか。

施設だけでなく民間や教育機関が所有する施設の利用や、近隣自治体との連携も考えなければなりません。私は県議時代に英国やドイツのスポーツ環境を調査しました。目の前に広がる施設の素晴

スポーツはするもよし、観るもよし、支えるもよし、いろいろな関わり方があります。そしてスポーツを通して、人と

環境を調査しました。目の前に広がる施設の素晴



が経過し、施設の機能改善が必要で。また、豪雨で被災する度に多額の復旧費用を要する酒匂川スポーツ広場や老朽化した御幸の浜プールの移転再整備を求める声もあります。地域のスポーツ環境を良くするには、公共

『世界が憧れるまち “小田原”』に向けた主要政策

- 人口増への挑戦、人口20万人を復活
- 企業誘致・創業支援による雇用創出と経済再生
- 教育環境・子育て支援の充実
- 安心して暮らせる医療福祉環境の充実と災害対策の強化
- 農林水産業とエネルギー・環境の融合



守屋てるひこ後援会

〒250-0042

小田原市荻窪317-1
イセトヨビル2階

☎ 0465-43-9918

☎ 0465-43-9917

✉ info@moriya-teruhiko.com

🌐 http://moriya-teruhiko.com



■プロフィール

1966年生まれ。芦子小・白山中・小田原高・東京電機大学・東京大学大学院卒。元神奈川県庁職員、前神奈川県議会議員。自民党小田原市連合支部支部長、東京大学大学院研究生、慶応義塾大学SFC研究所上席所員。

らしさに感動しました。財政的な制約があることは十分理解しますが、未来への投資も必要だと考えます。